

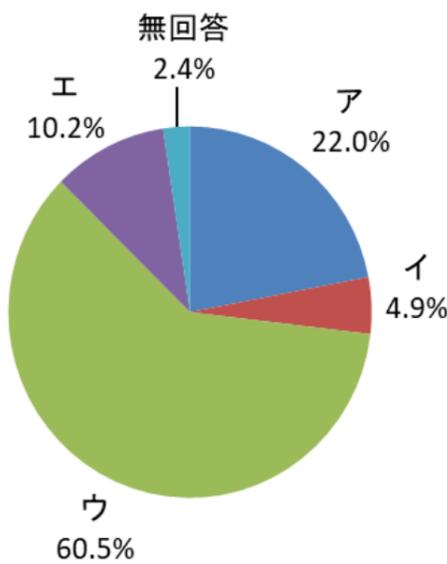
『ヨコハマeアンケート』の結果が出ました。

ヨコハマeアンケートとは？

市内在住・在勤・在学の15歳以上の方を対象にメンバー募集し、市政に関するアンケートにインターネットでお答えいただくものです。

今回、河川企画課から河川環境に関するアンケートをeアンケートメンバーである4,250人に行いました。その一部を抜粋して掲載させていただきます。

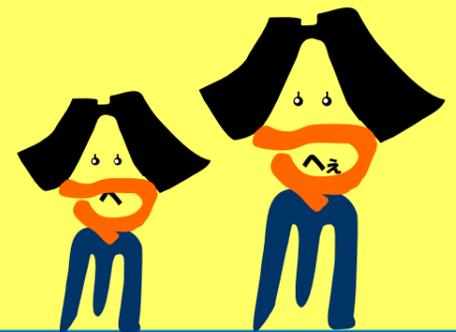
【質問】河川や水辺施設でのゴミ拾いや草刈り、花植えなどを実施する水辺愛護会というボランティア団体を知っていますか。
また、水辺愛護会への市民の参加についてどう思いますか。



【回答】

- ア 知っている。より多くの方が参加したほうが良い。
- イ 知っている。より多くの方が参加する必要はない。
- ウ 知らなかった。より多くの方が参加したほうが良い。
- エ 知らなかった。より多くの方が参加する必要はない。
- 無回答

n = 1302（回答数）



この結果から、水辺愛護会を知っていると回答が得られた割合は全体の約25%でした。まだまだ認知度に課題を感じております。
一方で、全体の約80%の方々が水辺愛護会の活動に参加したほうが良いという回答も見られました。

まずは、この結果を踏まえて、水辺愛護会について知る機会を増やし、水辺愛護会の活動に参加してもらえるよう広報にも河川企画課として、力を入れてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。 詳細な結果は横浜市HP※から⇒ **ヨコハマeアンケート 集計結果**

※ 横浜市HP「ヨコハマeアンケート集計結果（令和4年度）」

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/kocho/e_anke-to/kekka/R04kekka.html



ごみと水辺のはなし ～資源循環局政策調整課より～ 「マイクロプラスチック」

川や海に流出したプラスチックごみは、紫外線や波などの影響でどんどん小さくなっていきます。こうしたプラスチックのうち5mm以下のものをマイクロプラスチックといいます。

マイクロプラスチックは、水中の有害な化学物質を吸着しやすいという性質があります。海鳥や魚は、マイクロプラスチックを食べることで有害物質も一緒に体内に取り込んでいるという報告が次々と出ています。言い換えれば、マイクロプラスチックが有害物質の運び屋になっているということです。川や海に流出したプラスチックごみを、断片化する前に回収することは、マイクロプラスチックの発生抑制の上で重要な対策です。



左：劣化したカラーコーンの断片、右：マイクロプラスチック

水辺愛護会の活動に参加しました

新しく水辺愛護会が結成されました

9月10日 宮川に親しむ会 カマリヤン倶楽部（金沢区）

和泉川 ふれあいの水辺愛護 会（瀬谷区）



カマリヤン倶楽部の活動場所である宮川で、専門家を招き、生物採集を行いました。当日は、天候にも恵まれ、多くの地域の方々に参加しました。

魚類や甲殻類の生物を多く採取することができ、楽しく学ぶことが出来ました。

8月から新たに1つの水辺愛護会が結成されました。

活動範囲は、和泉川の大神橋～東山橋となっています。和泉川東山の水辺愛護会と連携しながら、広範囲に渡り、活動を行ってくださっています。

編集後記

本号も最後までお読みいただきありがとうございます。河川企画課の橘田（きた）です。今年度の残りの通信は橘田が担当することになりました。水辺愛護会の皆様にとって、より良い通信になるよう尽力して参りますので是非ともお付き合い下さい。さて、いよいよ10月も終盤に近付き、肌寒い季節になってまいりました。活動の際は、怪我に注意し、無理のない範囲で行うようお願い申し上げます。